

「目指せ！ 化石博士！」 石毛 克也

2025.07.26 毎年夏休み恒例の夏休み自由研究応援企画のサポーターを致しました。

参加者は8倍の競争率を勝ち抜いて抽選された銚子近郊の9家族22名です。

化石の採取場所は特定出来ませんがサメの歯、琥珀、クジラの骨・・・など世界的にも貴重な場所で、多品種かつ多量に採取できる場所です。

午前中、子供たちは、貝の化石や、植物化石を採取し、午後からジオパークミュージアムにて、講義と銚子で採れる化石のレプリカ標本づくりや、本物の化石の削り出し体験をしました。子供たちが、海岸で見つけた、石を持ってきて「これって、化石?」「何の化石かな?」・・・と、目をキラキラさせながら、興味津々に持ってきて質問責めにあいましたが、この体験

がきっかけになって将来、本物の化石博士が現れるとうれしいです。



説明を聞く親子の皆さん

注意 この場所は国定公園内にあるので、銚子ジオパークの指導の下できちんと化石採取をしました。

文化財講演会報告

安藤 清

7月20日、県立中央博物館にて開催された文化財講演会で、「市民の会」の活動を報告する機会をいただきました。

主催する文化財保護協会は、昭和40年に設立され、文化財の研究や普及、文化財保護活動の顕彰等を行っ

ており、会報や機関誌も刊行しています。

市民の会は、昨年度、当協会から文化財保護功労者表彰を受けています。講演の内容としては、銚子ジオパークを紹介し、構想から現在までの軌跡と市民の会が果たした役割を概観した上で、会の活動の成果と課題をまとめることとしました。

当日は、文化財・ジオパーク室のスタッフや市民の会メンバーもおいでくださり拙い講演を聴いていただきました。考古や歴史の資料に関心を寄せることの多い文化財協会のメンバーには、あまりなじみのない話題だったかもしれませんが、まず銚子ジオパークを知っていただけたようですし、さらにジオパークも文化財に関する活動の対象であり、他の文化財と同様に、その普及や保護にはボランティアの力が小さからぬ役割をもっていることなどについて、あらためてご理解いた

だけたように感じます。県文化財保護協会様ほか、いつもご教示くださる方々に深く感謝申し上げます。

「トビタテー世界へ」

安藤 清

7月24日、定例の学習会が開かれました。講師は、外川町に在住する清真学園高校2年生の鈴木海翔さん。文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN」プログラムによりカナダに留学したときの経験について報告をいただきました。

留学の目的は「研究×英語×海外経験」最強の自分探しとのこと。加えて、銚子で見られる化石や地層に小さいときから興味をもっており、それについて学びたいと考えたそうです。

留学先は、アルバータ州のドラム・ヘラー高校。授業の英語にもほどなく慣れて、校内で「Student of the

month」に選ばれたり、近くにある恐竜化石研究で世界的に有名なロイヤル・ティール博物館を訪ねたり、ホストファミリーにも恵まれて、とても充実した貴重な機会を得たとのことでした。



紹介中の鈴木さんを囲んで

留学報告の後は、現地で採集した化石や鉱物を紹介

していただきました。市民の会の参加者からは様々な質問があつて、本人はもとより一緒においでのなった母様や、同席くださった清真学園の安藤参与からもコメントをいただきました。

鈴木さんは、双葉小学校在学当時、ジオパークの見学や化石講座を受けたそうです。

俳句と川柳

線状の

暑さ吹き飛ぶ

龍の雨

松家 英彦

立秋や

昭和の電車が

去つてゆく

時の流れの早さを

感じています

保立 得造

秋夕焼け

白亜の灯台

光り出す

石嶋 博行

銚子ジオ

歴史を刻む

波や森

出口 節

学習会参加者には、市民の会の活動の意義をあらためて感じる時間にもなったようです。

※清真学園高校HPに当学習会の記事（7月28日付けトピックス）が掲載されています。